

島中だより

教育目標
 学ぶ意欲にとみ
 心豊かで たくましい生徒

八戸市立島守中学校
 TEL 83-2011
 文責 校長 竹花 和人

いじめのない島守中学校にしよう

校長 竹花 和人

※9月5日(月)の全校朝会講話より

みなさんもテレビや新聞の報道で知っていることと思いますが、8月19日に東北町の中学1年生が、8月25日には青森市浪岡の中学2年生が自殺しました。自殺の理由は現在調査中ではありますが、報道によると、どちらも「いじめ」の問題があったようです。そこで、今日は「いじめ」に関する話をします

まず、「いじめ」はなぜ起こるのでしょうか。能力開発工学センターの矢口みどりさんは、「いじめ問題を脳行動学の視点から考える」という論文で、いじめ行動が生まれる仕組みについて次のように述べています。

いじめを生み出す状況に様々な違いはあっても、そこに共通するのは対象に対する「ウザイ」「キモイ」という言葉で表される「不快感」である。その不快感は、必ずしもいじめの対象が原因していないもの「受験や成績からのストレス」「仲間外れという不快感から逃げる感情」も絡んでいることが多いが、とにかくそれらの不快な感情を解消するために、脳は行動を起こすのである。そして「相手をいじめることで得る快感」「仲間である安心感」を得るのである。(中略)

つまり、自分にとって快でないもの(不快なもの)を排除するという行動は脳の最も基本的な活動なのである。自分の力を示すことで快となる行動、また不快なことを避けたり紛らわせたりするための表現である「いじめの行動」は、脳の本能的な働きを土台とした行動だということである。「いじめはどこにでも発生する」「いつの時代でもある」理由はそこにある。

そして、矢口さんは

従って、いじめを封じるには、まずこの回路(いじめをすることで「快」になる脳の回路)を使わない状態にしなくてはならない。(中略)「いじめない脳」にするということは、「いじめ」で快になる状態を、「いじめない」がより快であるようにすることである。(中略)「いじめない」が快になるには、お説教を聞かせたり「いじめはいけない」というメッセージを読ませたりするという受動的な行動より、「いじめないことにより、快を感じる行動経験」させる。それを積み重ねることのほうがはるかに効果的である。脳のネットワーク回路は、脳を複雑に活発に活動させるほど、そして感情が絡むほどしっかりできていくからである。

とも述べています。つまり、「いじめを防止するための対策」とは、島守中学校で行われているような「仲間と協力し合って授業をしたり、学校行事に取り組んだりすること」に積極的に取り組むことが大切であるということです。

2学期始業式でも話したように、2学期は学習や学校行事などでやらなければならないことが多い学期になります。この2学期を、頑張ろうと前向きな気持ちで過ごすことが、「いじめのない島守中学校」をつくることにつながります。いままでのように「いじめのない島守中学校」を続けるためにも、仲間と協力し合って授業や学校行事に積極的に取り組んでいきましょう。

「さわやか八戸グッジョブウィーク」実施中

9月6日(火)から9日(金)までの4日間、2年生が八戸市教育委員会の事業である「さわやか八戸グッジョブウィーク事業」により、職場体験活動に取り組みました。今年度協力いただいた事業所は、「西モータース・南郷図書館・ローソン南郷市野沢店・サンデーホームマート南郷店」の4か所です。

8名の生徒は、事前学習や事前訪問による打合せにより、その事業所での仕事の概要は学んでいましたが、実際にその事業所で担当者の方の指導により働いてみると、思っていたのとは違う大変さがあったようで、学校生活では見られないような緊張した表情で活動していました。この4日間で学んだことをもとに、「夢や志」について改めて考える機会になってほしいと思います。



第2回地域学校連携協議会を開催

9月8日(木)に、第2回島守小・中学校地域学校連携協議会を開催しました。島守小学校と島守中学校が1学期に実施した地域との連携事業の報告と、学校評価アンケートの結果に基づく1学期の学校の様子についての説明を行い、それに対して委員の方々から御意見をいただきました。

委員の方からいただいた主な御意見は以下のとおりです。

- 子供たちのあいさつが良い。素直である。
- 高校等で島守から出て行った時が心配である。どんな人とも関わることができるたくましさが必要ではないか。
- 子供だけで郵便局で振込をするなど自立に向けて一人でやらせる機会を増やすことが必要ではないか。
- 保護者の意見を受け止めることも必要だが、学校の立場を説明して理解してもらうことも大切である。

今後は、これらの意見を生かして教育活動を充実させていきたいと思っています。

楽しかった爽やかコンサート

9月7日(水)に、航空自衛隊北部航空音楽隊による「爽やかコンサート」が行われました。これは、八戸北高等学校南郷校舎が今年度限りで閉校になること、今年4月に旧市野沢小・中野小・鳩田小が統合されて南郷小学校が開校したことと、田代小・中学校が今年度限りで閉校して島守小・中学校に統合されることもあり、南郷地区の学校配置が大きな変動を迎えたこの機に、地区内の小・中・高校生が一堂に会して交流する機会としたいと南郷校舎から提案があり、実現したものです。

児童生徒と教職員あわせて約400名が、航空自衛隊北部航空音楽隊の素晴らしい演奏を聴き、さらに各学校の代表者が指揮者の体験をするなど、楽しい1時間を過ごしました。(本校では3年生の館海斗さんが指揮者の体験をし、会場を大いに盛り上げました)このような機会を与えてくださった、航空自衛隊北部航空音楽隊の皆様や南郷校舎の皆様に感謝したいと思います。

お礼

8月30日の台風10号接近の際には、急な連絡にも関わらず、生徒のお迎えに来ていただき、ありがとうございました。お陰様で短時間で無事に生徒を退下させることができました。今後も台風接近などの緊急時には、御協力よろしく願いいたします。